

# 技術移転プロフェッショナル国際連盟 (THE ALLIANCE OF TECHNOLOGY TRANSFER PROFESSIONALS:ATTP)

## について

### ミッション

技術移転プロフェッショナル国際連盟 (The Alliance of Technology Transfer Professionals: ATTP) のミッションは、知識及び技術の移転における国際的な基準を推進し、維持することです。ATTP は、大学や産業界、政府機関研究所などに勤務する知識移転及び商業化の実務者に向けた国際的な専門家の基準、技術移転プロフェッショナル (Registered Technology Transfer Professional:RTTP) の認定を通してこれを行っています。

ATTP の歴史の詳細:[ATTP History](#)。知識・技術移転の詳細:[knowledge/technology transfer](#)。

### ゴール

- 知識・技術移転プロフェッショナルのための国際的に認められた基準を維持すること
- この分野において、コアな能力や実績を証明した知識・技術移転プロフェッショナルに RTTP 認定を授与すること
- メンバーの能力を底上げするため、プロフェッショナル能力開発のための認定プログラムを通して全国的な KE/KT プロフェッショナル協会を支援すること
- 国際的に認定された基準を遵守したプログラムを用意するよう、研修提供者を奨励すること

### ATTP について

技術移転プロフェッショナル国際連盟 (The Alliance of Technology Transfer Professionals: ATTP) は、11 の知識・技術移転協会が集まった連盟です。ATTP 設立に携わった協会は ASTP-Proton、AUTM、KCA、そして PraxisAuril であり、その後に加わった協会は Redtransfer,、SNITTS、SARIMA、STEM、TechnologieAllianz、UNITT、そして ÜSiMP です。私達は、国際的な知識・技術移転協会を ATTP に迎え入れています。参加申し込みについては、[ATTP へのお申し込みガイドライン](#) をご覧ください。

## ATTP へのお申し込みガイドライン

ぜひ、連盟に参加してください！国際的な技術移転プロフェッショナルの連盟である ATTP は、新旧問わず、全国的あるいは国際的な技術移転協会をお迎えしています。私たちは、ともにそれぞれの専門性を強化しています。

**ATTP に参加したい場合、既存（または新設）の協会は以下の点を必ず証明してください：**

- 持続可能性
- 技術移転のプロフェッショナルによって運営されているということ
- 拠点とする国の技術移転プロフェッショナルの多数代表
- ATTP 設立に携わったメンバーのゴールや目的に沿った憲章
- プロフェッショナル能力開発及び研修を提供する意思と能力
- 業務に役立つ年次のカンファレンスやその他のイベント等の提供

### お申し込みプロセス

所属される協会が上記の要項を満たしていることを簡単に説明した E メールを送ってください。その後、[Contact ATTP](#) をクリックして申し込みプロセスを始めてください。

## RTTP の進展

RTTP 認定を受けると、実績ある経験豊富ならプロフェッショナルであることをステークホルダーや顧客に理解してもらえるため、信頼と自信を築きやすくなります。

経験年数に関係なく、全ての知識・技術移転プロフェッショナルが RTTP に向けて努力できるよう、RTTP への申込みルートが合理化されました。新しい RTTP の申し込み要項の詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

これに加え、ATTP は新たな認定を開始しました。それは、RTTP 候補 (Candidate RTTP) というものです。RTTP 候補は、新人からプロフェッショナルまで、RTTP 認定に向けて研修や訓練を重ねているということを知らせることができます。これにより、自分がキャリアについて真剣であり、最高基準に到達すべく努めていることを雇用主に伝えます。RTTP 候補者は、「RTTP 候補」という肩書を名前の後に記すこともできます。RTTP 候補に進む重要な利点の 1 つとして、候補者は自身のキャリアについて将来希望するプランを作成し、それを達成するために必要な研修並びにメンタリングを特定するよう求められます。このプランが、RTTP に申し込む際の「発進力」となるのです。所属する協会によって提供される ATTP 認定コースに参加したこのとのある KE/KT/TT プロフェッショナルは、RTTP 候補に応募するよう招待されます。RTTP 候補の申し込み要項については、[こちら](#)をご覧ください。

最適な RTTP 認定、あるいは RTTP への道 (RTTP または RTTP 候補) を選びやすくするため、以下のリンクをご用意しました。該当するリンクをクリックすると、それぞれの概要や詳しい手順、さらにスムーズに応募するためのアドバイスを見ることができます。新しいアプローチの利用をぜひご検討ください。

[RTTP ステータス](#) (関連する業務に 3 年以上従事していること)

[RTTP 候補への進路](#) (関連する業務に 6 ヶ月間従事していること)

詳細については、[FAQ](#) をご参照ください。

## RTTP の基準

RTTP は、大学や産業界、政府機関研究所などに勤務する知識共有/知識移転/技術移転 (KE/KT/TT) 実務者のプロフェッショナルなコンピテンス及び経験に対する国際的な基準であり、実務での達成実績に基づきます。同業者に認められているメンバーは、世界中に 400 名存在しています。

RTTP 認定を受けるためには、この仕事を効果的に遂行するために必要はコアなコンピテンシーを持ち、確固たる実績を持っているということを証明する必要があります。

### 認定を受けるために必要なスキルや経験とは？

#### KE/KT/TT の経験

関連する業務に 3 年以上携わっていたことを証明できる必要があります。

RTTP への申込資格を得るためには、技術移転プロフェッショナル国際連盟 (ATTP) のメンバーが代表する国において、同様のスキルを使用して 3 以上関連業務を行ってきたことを表す履歴書を提出する必要があります。

#### KE/KT/TT KEY のスキル

効果的に、独立して業務を遂行するために必要とされる重要なスキルを手にしていること証明できる必要があります。

証明する方法 (下記いずれか) :

KE/KT/TT の認定プログラムにおいて RTTP CE を 60 ポイント獲得し、かつ RTTP 候補として将来希望するキャリアプランにて必要であると示された能力開発が満たされていること (さらに、関連する対面式の研修[カンファレンスやウェビナーを除く]において少なくとも 45 ポイントを得ていること)

(この方法が最も簡単に迅速な評価になります)

または

下記のうち、少なくとも 2 点:

- RTTP のコアなコンピテンシーを達成するために得られた専門資格や参加した関連するコースの一覧表。委員会が資格の関連性やレベルを評価できるよう、研修あるいは付与団体の名前をそのコースや資格についての十分な詳細情報とともに明記すること。**RTTP 認定コースを受けたが、RTTP CE のポイントが 60 点以下しか得られなかった場合、それをこの一覧表に含めても良い。RTTP 認定カンファレンスは認められない。**
- 応募者の経験年数に応じた然るべき規模、量、質の「取引あるいはプロジェクト」の一覧表。
- KE/KT/TT におけるリーダーシップ的役割の説明。応募者が率いたチーム及び新規構想の規模やスコープも含めること。

(これらの方法は、より複合的な評価や証拠を必要とすることから、プロセスに時間がかかることがあります)

#### KE/KT/TT の実績

**複合的な KE/TT プロジェクトを率いるために、自身の知識やスキルを適用したことを証明できる必要があります**

これは、応募者の上司やパートナー、顧客によって推薦され、同業者達からの評価を受けるために提出される 1000 語以内の**実績概要 (Achievement Overview)** によって達成されます。実績概要は、下記のうち 1 つ以上のことを説明することができます：

- 応募者の知見がなければ実現できず、双方の望むゴールを達成することも出来なかった、複合的かつ重要なコラボレーションまたは戦略的なパートナーシップ
- 応募者の知見（例：認可、実質的なコンサルティングあるいは委託研究取引、別会社の設立、及びその投資前段階を通して応募者が積極的に統率を行い、その結果として外部からの資金を調達し、市場に影響を与えた、あるいは株主に価値を提供したこと）がなければ実現されなかった、複合的かつ重要な商業的取引
- 応募者の知見がなければ実現されなかった重要な知識移転の新規構想、そしてその結果新たな能力や構造、資金調達、報奨金、あるいは明白な知識移転・知識共有を可能にした他の発展へと繋がったこと

RTTP の応募者は、以下の 5 つのコンピテンシーに関連するスキルや実績を説明する必要があります。これらのコアなコンピテンシーは、いくつかの重要な国々における既存の全国的な枠組みと

のコラボレーションによって発展してきました。RTTP のために評価されるコアなコンピテンシーは以下の通りです。

- 戦略及びビジネスに関する見識 - 戦略的思考、市場先導型で企業家的なアプローチ、ビジネス及び商業的なスキル
- 企業家的リーダーシップ - 資金確保、交渉の主導、新たなベンチャーの開発
- 効果的なエンゲージメント - コミュニケーション、コラボレーション、そして影響力
- 法律及び技術ノウハウ - 効果的に知識を移転するのに必要とされる重要な法律、技術、及び当該分野に関する知識を持っていること
- ガバナンス及びプロジェクトマネジメント - KE/KT/TT を支えるための重要な新規構想の開発、知識や情報フローの管理、知識共有のシステムとプロセスの開発及び管理

## RTTP のコアなコンピテンシー

### コアなコンピテンシー、スキル、経験の詳細な説明

これらのコアなコンピテンシーは、いくつかの重要な国々における全国的な既存の枠組みとのコラボレーションによって発展してきました。

### 戦略及びビジネスに関する見識 – 戦略的思考、市場先導型で企業家的なアプローチ、ビジネス及び商業的なスキル

関連するスキル・経験の例:

- 機会や新規構想の特定及び供給
- 市場知識から商業機会への翻訳
- リスクアセスメント、デューディリジェンスの実行
- ビジョン形成、方向性の策定、協力者の確保
- プロジェクトや新規構想の戦略及びデザインの開発
- 市場及びビジネス戦略、並びに市場サイクルの定義
- スキルや経験、能力、リソースを機会へとマッチさせること

### 企業家的リーダーシップ – 資金確保、交渉の主導、新たなベンチャーの開発への積極的な取り組み

関連するスキル・経験の例:

- 資金調達の場合と戦略的な目的や優先順位を並行させる
- KE/TT プロジェクト並びに新規構想を支える新たな資金を特定し、確保する
- 複雑な交渉を主導し、構造化し、実現させ、異なる視点を調和させ、ソリューションを達成する。例: 弁護士や会計士との衝突
- 柔軟でクリエイティブなソリューションを見出すことで、組織的な問題またはパートナーの障壁を克服する
- 新たなビジネスの形成、構造、法的枠組み、株主との合意、そして投資ファンドへのアクセスを支援する
- コミュニティーベースの慈善プロジェクトを発展させ、運営する
- 新たなベンチャーやプロジェクトを、財政的な独立が果たされるまで育成する

### 効果的なエンゲージメント – コミュニケーションスキル、コラボレーションスキル、インフルエンシングスキル

<http://attp.info/>

関連するスキル・経験の例:

- 大学やビジネスとのコラボレーションのための新たなネットワークを築く
- 潜在的なパートナーを特定するために調査し、クリエイティブに計画を建てる
- 関連するマーケットやセグメントにマーケティング・ミックスを適用させる
- パートナー、投資家、そしてコラボレーターを見つける
- 潜在的なパートナーに情報を与え、説得する
- 異なる文化やバックグラウンドを持つステークホルダー達との効果的な関係を管理する。例: 契約、マイルストーン、成果物、議論の処理、課題の解消

### **法律及び技術ノウハウ – 効果的に知識を移転するのに必要とされる重要な法律、技術、及び当該分野に関する知識を持っていること**

関連するスキル・経験の例:

- 知的財産の属性や商業可能性を評価する
- 知的財産の活用戦略を発展させ、商業的なニーズを満たす
- 異なるライセンス及びビジネスモデルを適用させる
- プロジェクトに必要なあらゆる知的財産を保護し、パッケージ化し、実施する
- 関連する知的財産ライセンス及び協定の素案を作成し、交渉し、確認を行う
- 商法や財務の枠組みに関する専門性を理解し、自ら実践する
- リスクを解釈し、それに対して助言を与え、さらに管理する
- 国内外の法令や司法等を含む、関連する外部の規定や規則を遵守する

### **ガバナンス及びプロジェクトマネジメント – KE/KT/TTを支えるための重要な新規構想の開発、知識や情報フローの管理、知識共有のシステムとプロセスの開発及び管理**

関連するスキル・経験の例:

- 複数のステークホルダーを伴うプロジェクトに対し、ガバナンスの枠組みを制定する
- 複合的なプロジェクトを発展させ、設立し、管理する。例: 契約、予算、マイルストーン、成果物、意思決定、情報管理、そして結果と成否についての報告
- 顧客体験及びアウトプットの提供あるいはファシリテーションを発展させ、設立し、管理する。
- システム (ICT システムを含む) を発展させ、設立し、管理し、知識の生成または取り込みから目標の完遂までを対応し、KE/KT/TT の目標を達成するために情報が効率よく流れていることを確実にする

## RTTP の利点

### RTTP の登録に伴う利点

RTTP は、大学や産業界、政府機関研究所などに勤務する 知識移転や商業化の実務者に向けた、プロフェッショナルな国際基準です。RTTP の枠組みは、知的財産の商業化から産学協同コラボレーション、スタートアップ企業の設立までに渡る、幅広い技術移転に関して示されたコンピテンスや経験を認定します。

RTTP は、個人的及びプロフェッショナルとしての信頼性を示すものであり、雇用主や同僚、世界中のビジネスパートナーに以下のことを伝えます：

- 経験豊かでスキルと実績を持ったプロフェッショナルであること
- 効果的かつクリエイティブに働き、特筆すべき付加価値を与え、成果を提供すること
- コンピテンス、誠実さ、ビジョン、多才さ、そして忍耐力が実証されていること
- 業務を上手く遂行し、豊かなネットワークを築きやすくするため、関連する研修コースを受けている、あるいは資格を取得済みであること

この仕事を新しく始めた方々には、「RTTP 候補」という新しい認定があり、これにより新人からプロフェッショナルまで、RTTP 認定に向けて研修や訓練を重ねているということを知らせることができます。これにより、自分がキャリアについて真剣であり、最高基準に到達すべく努めていることを雇用主に伝えます。

RTTP はキャリアの発展やモビリティ、国際的認知を引きつけます。そして、文字通り世界を変えることのできる、やり甲斐のある役割として、仕事への素晴らしい満足度が得られます！この認定を受けたプロフェッショナルは、世界中に 400 名以上存在します。さあ、仲間に入りませんか？

## RTTP、RTTP 候補へのお申し込み

### 今すぐご応募！

まず、RTTP または RTTP 候補へ応募する際の[最少要項 \(Minimum Requirements\)](#) をご確認ください。その後、下の方でアカウントを作成してください(E メールアドレスとパスワードが必要になります)。ログインし、RTTP または RTTP 候補の応募 1 ページ目が開きます。一度に情報を入力し、保存して送信することもできますし、初期情報を入力して保存した後、後日戻ってきて更新するか応募を完了させることもできます。ATTP 技術移転ニュースを E メールで受け取るため、チェックボックスをチェックしてください。

お申し込み内容は同業者 (ATTP 設立に関わった協会から、3~6 名のシニア技術移転プロフェッショナルが委員会として選ばれています) によって判定されます。多様な人選からなる委員会が、世界中からの申し込み内容の評価に専門性と一貫性をもたらします。RTTP 調査委員会メンバーのさらなる情報についてお知りになりたい場合、[こちら](#)からご確認いただけます。

## RTTP 候補

「RTTP 候補」は新しく作られた認定で、これにより新人からプロフェッショナルまで、完全な RTTP ステータスの授与に向けて研修や訓練を重ねているということを知らせることができます。これにより、自分がキャリアについて真剣であり、最高基準に到達すべく努めていることを雇用主に伝えられます。

RTTP 候補者は、「RTTP 候補」という肩書を名前の後に記すこともできます。

RTTP 候補の認定は、通常候補者がその仕事についてから 6 ヶ月ほど経った頃（一般的に、試用期間の半分ほどが過ぎた頃）に手に入れられ、その頃には候補者もその上司も、将来への進路に対する持続可能性や専心の度合いが測れるようになっているはずです。

完全な RTTP 認定と同様、KE/KT/TT の経験、KE/KT/TT のスキル、そして KE/KT/TT の実績という 3 つの要件があります。

これら 3 つの要件はどれも、オンラインのフォームを使用して完成させることができます。

### RTTP 候補の要件

#### KE/KT/TT の経験

候補者は、ATTP 加盟協会の 1 つが拠点を置く国において KE/KT/TT の業務を行っており、さらにその加盟協会の一員である

#### KE/KT/TT KEY のスキル

候補者は研修やメンターとの協働を通して能力開発に尽力している

#### KE/KT/TT の実績

候補者は、将来希望するキャリアプランを作成している

上記の 3 つの要件は、候補者の監督者、上司、あるいはサービス・ディレクターが署名入った単一のオンラインフォームを通して提示する必要があります。

## 監督者、上司、サービス・ディレクターの役割

候補者の監督者、直属の上司、あるいはサービス・ディレクターは、その候補者が RTTP を達成するにあたって重要な役割を担っています。

RTTP 候補ステータスに登録するにあたり、候補者は自分のキャリアをどう発展させたいのかを説明し、希望に到達する手助けとなる研修や経験、メンタリングを提示した将来希望するキャリアプランを準備するよう求められます。これは、ディレクター、あるいはディレクターによって承認された監督者や上司のサポートを受けて準備する必要があります。

オンライン登録フォームには 2 つの主なセクションがあります：

1. 候補者とその監督者や上司によって作成され、以下のセクションを含んだ**将来希望するキャリアプラン (Career Aspiration Plan)**:
  - a. 候補者の現在の状況や経験
  - b. 候補者のキャリアパスのプラン
  - c. 候補者が将来希望するキャリアプランを達成するにあたり必要とされる、ATTP 認定コースも含む研修や能力開発
  - d. 並びに、候補者が希望するキャリアの達成を支えるために必要とされるメンタリング、あるいは特定のメンター
2. ディレクターが、候補者が望むキャリアに到達するための能力開発プログラム並びにメンタリングを通して候補者の RTTP ステータスを支援することに合意することを伝える、簡潔な文章及びオンラインの署名によって示される**ディレクターの認証 (Director's Confirmation)**。また、以下 2 点のことも伝えること:
  - a. 候補者が KE/KT/TT の業務を現在行っていること
  - b. 候補者が、本人のサービス及びオフィスによって承認された上司や監督者へ相談した上で、将来希望するキャリアプランを作成したこと

## 手続き

申し込みフォームはナショナル・アソシエーション (The National Association) によって検査され、オンラインプロセスの全ての要素に正しく沿っていること、特に適切なディレクター申込書を承認したということが必ず確認されます。その後、ナショナル・アソシエーションが結果を ATTP に提出すると、ATTP が候補者を登録し、その候補者が進路に乗ったことを伝える手紙または E メールを送付します。